

# 緑風

平成22年7月15日発行

2010 盛夏号 76

シリーズ／首長が語るわがまちの環境緑化対策②  
大久保寿夫小山市長／「水と緑と大地」のゆたかなまち  
第9回水と緑の少年隊フォーラムin足尾で300本植樹



【第9回水と緑の少年隊フォーラム in 足尾で植樹する参加者】

聴えますか緑のシンフォニー



社団法人 栃木県造園建設業協会

表紙写真／第9回水と緑の少年隊フォーラム in 足尾で  
植樹する参加者

シリーズ・首長が語るわがまちの環境緑化対策 … 1  
第2回／大久保寿夫小山市長  
「水と緑と大地」のゆたかなまち

平成22年度造園三団体通常総会開かれる  
専務理事に小平忠彦氏、組織強化を図る … 2  
平成22年度造園三団体事業計画 …… 3

〈地区だより〉大橋和子さんが林野庁長官賞受賞 … 5  
〈新梢①〉落合昌樹／個人庭園の維持管理を大切に … 5

第9回水と緑の少年隊フォーラム in 足尾  
県内外から250人が参加、アセビ300本を植樹 … 6

栃木県造園建設業協同組合・指定管理施設ニュース  
栃木県民ゴルフ場で入場者数目標36,000人に … 8  
栃木県中央公園「マツの手入れ講座」満席 …… 9  
日光市上三依水生植物園「黄色いケシ」開花 … 9

平成22年度栃木県造園高等技術学校入校式  
1年ぶりの開校で18名の入校生迎える …… 10  
事務局だより／編集後記 …… 11  
会員名簿 …… 12

## 連載 / 造園協会の歴史と展望

### 第31回 造園学校で皆勤賞8名を記録

栃木県造園高等技術学校（染宮正運営会長、木山八郎校長）の平成18年度（第32回）修了式が行われたのは3月16日。会場は宇都宮市駒生のコンセーレ。

この日、染宮運営会長と木山八郎校長は朝から上機嫌だった。16名の修了生の半数にあたる8名が皆勤賞を受賞したのだ。開校以来、初めての快挙となるものだった。

染宮会長は、あいさつで「事業主の皆さんのご理解とご協力に深く感謝します。今年度の修了生は16名ですが、その半数、8名が皆勤賞を受賞されました。この快挙は、開校以来はじめてのことではないでしょうか。たいへん立派な記録で、本校の誇りであります。修了生の皆さん、本当にありがとう」と涙ぐんだ。

公共工事の激減や不況にあえぐ中で訓練生を預ける事業主に対する敬意と感謝の気持ち、その事業主の期待に見事に応えた修了生の努力と心意気をだれよりも痛感した染宮会長の涙だった。木山校長も「うれしいもんだねエ」と感激で顔を赤らめていた。

1年間の休校のあと、平成22年度訓練生は18名で再開校した。歴史と伝統ある造園学校で学べることは“皆さんの誇り”でもあるはずだ。

## 【シリーズ・首長が語るわがまちの環境緑化対策】

第2回／大久保寿夫小山市長

# 「水と緑と大地」のゆたかなまち

小山市は、鎌倉・室町時代、下野国の守護（現在の県知事）を務めた小山氏の居城「祇園城」（ぎおんじょう）の城下町として栄え、「徳川幕府三百年」を決定付けたと言われる天下分け目の軍議「小山評定」の開かれた「開運のまち」であり、「水と緑と大地」の豊かな、東京圏からわずか60キロメートルの新幹線の停車する鉄道・国道ともに交差する交通の要衝であります。

そして、小山市は思川をはじめとする豊かな水辺や数多くの平地林、広大な田畑などの、「水と緑と大地」の豊かな自然環境に恵まれ、この自然の恵みをふんだんに受けながら、産業の育成に努め、現在の栃木県内第2位の都市に発展してまいりました。

一方、この便利で快適な暮らしは、身近な緑や水辺、平地林、動植物の減少を招くとともに地球温暖化という形で、私たちの生活に大きな影響を与え始めています。

私たちは、こうした現状を認識し自覚するとともに、この自然の恵み溢れるまちを大切に、「水と緑と大地」の豊かさを次の世代に引き継ぐため、2008年（平成20年）「環境都市宣言」を行い、これまで県内のトップクラスの様々な事業に取り組んでいます。

その中で、小山市は平成13年から、小山市の母なる川であり、シンボルである思川の堤防を市花で、小山ブランドとなっている「思川桜」

（おもいがわざくら）で埋め尽くそうと、小山市造園建設業協会の皆様方の絶大なるご協力を得て、思川桜の植樹を始めました。「思川桜」は、小山市が誕生した昭和29年に、市内東島田の思川河畔に建つ小山修道院の庭で発見された当市原産の桜で、花弁は10片ほどの半八重咲きで、ソメイヨシノとサトザクラ（八重桜）の中間の時期に淡い可憐な花を咲かせます。

この「思川桜」の植樹については、住民参加による思川桜堤の整備ということで、里親制度を導入し、里親がそれぞれの思いを込め、自分の桜として大切に育てており、大変好評を博しています。おかげさまをもちまして、こうした里親の皆様によります植樹が、市制55周年を迎えた平成21年には1千本を超えることとなりました。

こうした取り組みにより、春には、思川堤防沿いは、淡い可憐な花を咲かせた「思川桜」の美しい桜並木が現出し、多くの方々の目を楽しませるとともに、1年を通して散歩やジョギングなどのコースとして、多くの市民に親しまれています。また、今年4月には、全国から3千余名の健脚の参加を得て、「第2回思川桜マラソン大会」を盛大に開催したところです。

そして、そのような中、昨年、日本経済新聞社が全国の都市を環境の良さと経済の活力を両立させながら、快適に過ごせるサステナブル（持続可能な）都市として評価を行っております全国都市調査において、小山市は全国第30位、地方都市としては第1位の評価を受けたところであり、非常に光栄なことと考えています。

このような自然環境に恵まれた小山市では、大切に受け継がれてきた自然環境を守るとともに、水と緑の調和の取れた住みよい県南の拠点都市として、さらに発展するために、今後とも緑の保全活動、緑化推進運動などを積極的に進め、次代を担う子どもたちに、「水と緑と大地」の豊かな小山市を受け継いでいきたいと考えています。



小山市長  
大久保寿夫氏 略歴

●昭和23年8月9日生まれ、満61歳。●昭和46年3月、京都大学農学部卒業。●昭和48年3月、東京大学大学院修士課程修了。●昭和48年4月、農林水産省入省。昭和61年3月、外務省勤務（在中国日本国大使館一等書記官）後、農林水産省室長、関東農政局建設部次長を歴任、平成12年4月、農林水産省退職。●平成12年7月31日、小山市長就任。現在3期目。●趣味は読書、弓道、めだかの増殖。

平成22年度造園三団体通常総会開かれる

## 専務理事に小平忠彦氏、組織強化を図る

組合の新副理事長に吉岡雅之氏(宇都宮市・有福寿園)が就任、指定管理受託施設「日光市上三依水生植物園」の運営管理を担当する。

(社)栃木県造園建設業協会／栃木県造園建設業協同組合／職業訓練法人栃木県造園高等技術学校運営会



(社)栃木県造園建設業協会(高梨道太郎会長)、栃木県造園建設業協同組合(清水孝真理事長)、(職)栃木県造園高等技術学校運営会(染宮正会長)の平成22年度(第37回)通常総会が5月26日、宇都宮市駒生のコンセーレで開かれた。

議事では、三団体の21年度事業・収支決算報告、22年度事業計画・予算案を原案どおり可決し、緑化意識の普及啓蒙、造園・緑化技術の向上と事業の拡大、会員の確保などを図ることを決めた。高梨会長は、「3月に実施した地域交流会(県内4地区)で会員の皆さんと膝を交えて話し合ってきた意見を、今後の協会運営に反映させていきたい。また、発注者である行政の方々ともコミュニケーションをとりながら県土の緑化に貢献したい」とあいさつ。

一方、協同組合の清水理事長は、「受託した指定管理施設(宇都宮市北山霊園、日光市上三依水生植物園、栃木県中央公園、栃木県民ゴルフ場の4施設)の運営に万全を期し、委託者からも運営状況に対して概ね妥当な評価をいただいた。これも毎月理事の皆さんに同席いただいて実施している“指定管理者合同運営委員会”に負うところが大きく、皆さんのご理解とご協力に改めて感謝したい」とあいさつした。

また、造園三団体の組織の拡充と経営基盤の強化を図るために定款を一部変更し、総会途中

に緊急理事会を招集して、小平忠彦事務局長の専務理事就任を承認した。

組合では、床井光雄副理事長の後任に吉岡雅之氏が副理事長に就任し、日光市上三依水生植物園の運営管理を担当することになった。

平成22年度表彰者と来賓は次のとおり。

【平成22年度表彰者】(敬称略)

◆従業員勤務成績優秀者

上野 秀樹 (有限会社上野園)

古口 典之 (山本建設株式会社)

◆事業所勤務永年(30年)勤続者

佐藤 輝雄 (山本建設株式会社)

◆事業所勤務永年(20年)勤続者

斉藤 尚久 (株式会社栃木緑化造園)

関根 章雄 (株式会社御幸造園)

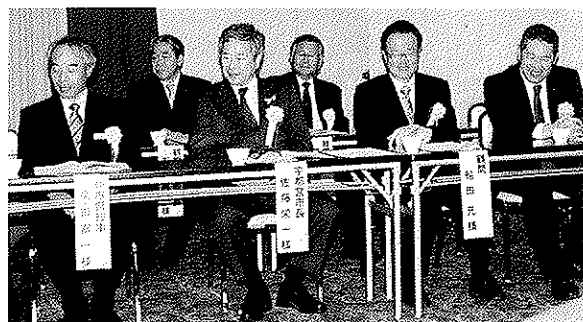
関 政勝 (渡辺建設株式会社)

◆事業所勤務永年(10年)勤続者

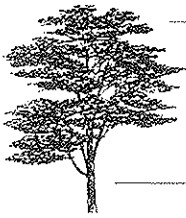
半田 洸三 (株式会社栃木緑化造園)

【来賓】(敬称略)

栃木県知事・福田富一(代理/県土整備部都市整備課長・諏訪浩一)/宇都宮市長・佐藤栄一(代理/都市整備部長・栗田健一)/顧問・船田元/顧問・佐藤勉衆議院議員/顧問・渡辺喜美衆議院議員(代理・関谷悟秘書)/顧問・増渕賢一県議会議員/顧問・石坂真一県議会議員/顧問・藤岡義三



▲総会には多数の来賓が出席、業界の発展を祝った。



# 平成22年度造園三団体事業計画 〔平成22年4月1日より 平成23年3月31日まで〕

## ◆栃木県造園建設業協会

### I 基本方針

わが協会をとりまく環境は、相変わらず好転のきざしもみえず、益々悪化の一途をたどりつづけている。

しかしながら、造園建設業界には、21世紀が「環境の世紀」、「緑の世紀」と言われているように、社会的な認識や世論の動向を背景にした追い風があるように感じられる。

このような時代にこそわれわれ業界が、一致結束し一丸となって、長年にわたって培ってきた造園技術や造園的感性を活かして、確固たる環境建設産業としての地位を不動なものにすることこそが、厳しい時代に業界として活性化の道を見出すことにつながるのではないかと思われる。そのためには、造園建設業界に身を置く者が、自ら知恵と努力を発揮することによって、輝かしいわれわれ業界の未来を勝ちとっていくことが重要なことである。

このようなことから、われわれ業界として、造園緑化事業の推進を通してやすらぎと潤いのある安全快適な生活環境を創出することと、次世代を担う若者をはじめ、県民への環境緑化の大切さの意識・啓発を醸成することを図るため、次の事業を重点的に推進する。

1. 緑化意識の普及啓蒙と行政施策への協力
2. 業界の経営近代化の促進と基盤の強化
3. 造園・緑化技術の向上と事業の拡大
4. 協会組織の拡充と経営基盤の強化

### II 事業計画

1. 緑化意識の普及啓蒙と行政施策への協力
  - (1) 「みどりの日」、国及び地方公共団体等が実施する緑化月間等の行事や事業を中心に、県民の緑化意識の普及啓発活動に協力し、郷土の自然環境の改善に資する。

- (2) 「プロジェクトEco-21」による更なる事業の拡充を図り、県民の緑化意識の高揚に努める。

「水と緑の少年隊フォーラム in 足尾」の平成21年度における実績を踏まえ、更に充実を図りながら推進する。

- (3) 県、市町村及び外郭団体等の行う調査をはじめ各種の事業に積極的に協力するとともに、新技術工法などの提案を行っていく。

### 2. 業界の経営近代化の促進と基盤の強化

- (1) 造園・緑化関係公共工事の拡大と、設計・積算・歩掛の適正化及び会員の受注率向上を関係機関に要望、陳情する。
- (2) 電子入札、CALS/EC事業に積極的に参加する。
- (3) 傷害共済事業及び第三者賠償共済事業・労働総合保険の普及拡大に努める。

### 3. 造園・緑化技術の向上と事業拡大

- (1) 栃木県造園高等技術学校、栃木県造園技能協議会と協力して技術講習会を開催する外、造園技術の取得援助や新技術情報の提供などを通して会員の技術の向上を図る。
- (2) 業界の安定を図るため、栃木県造園建設業協同組合と密接な連携を図りながら組織の拡充と事業の強化に努める。
- (3) 業界の人づくりを進めるため、栃木県造園高等技術学校の健全・円滑な運営に努める。

### 4. 協会組織の拡充と経営基盤の強化

- (1) 組織拡充を図るため、会報の発行などを通して会員相互の理解増進を図る。
- (2) 収入確保と支出の節減に努め、財政基盤の強化に努める。
- (3) 関係団体の組織と連携を密にし、より円滑な関係の維持に努める。
- (4) 4施設の指定管理者として、管理・運営を行っている栃木県造園建設業協同組合と連携しつつ、更なる指定管理者制度についての情報の収集に努める。
- (5) 平成20年12月に新制度として施行された公

益法人の制度改正について情報の収集分析とあわせ、これまでの研究と検討を重ねてきた結果を踏まえ、一般社団法人へ移行する方向として、更に専門検討チームで研究・検討を重ねながら移行認可申請に係る事務を進めていく。

## ◆栃木県造園建設業協同組合

### I 事業方針

組合の社会的地位の向上及び組織と事業の拡充に努め、引き続き公共団体からの受注獲得に努力するとともに、指定管理者として受託した4施設の管理・運営を万全な体制で進め、確固とした体制を築き上げていく。

1. 共同受注事業の推進
2. 共同購入事業の促進
3. 指定管理者としての事業の推進
4. 技術教育の充実
5. 組合運営・事業の広報

### II 事業計画

1. 共同受注に関する事業
  - ・公共団体からの工事、管理受注の推進
  - ・指定管理者制度に伴う受託事業の推進
2. 共同購入に関する事業
  - 共同購入の推進
3. 指定管理者としての事業
  - 北山霊園、上三依水生植物園、栃木県中央公園、栃木県民ゴルフ場の指定管理者として

の受託事業の推進

4. 技術教育の充実
  - ・安全管理、労働災害の講習会、その他各種講演会
  - ・緑化技術の勉強会
  - ・新規事業の研修会
5. 組合運営・事業の広報
  - ・組合の運営や事業に関する情報を、組合ニュースとして年4回配布。栃木県造園建設業協会の会報「緑風」に掲載

## ◆栃木県造園高等技術学校運営会

1. 普通職業訓練 普通課程（高卒）  
第35期入校生18名を迎え、4月2日開校した。  
◇訓練予定時間数  
集合訓練 400時間  
分散訓練 1,100時間  
◇昨年に引き続き、県の助成金を得て訓練用具の整備・訓練生確保対策事業を行う。
2. 普通職業訓練 短期課程  
◇造園土木施工コース  
30名募集 24時間実施  
◇造園実技（技能検定）コース  
20名募集 48時間実施  
◇造園実技（実習）コース  
20名募集 16時間実施
3. 造園高等技術学校の建設  
◇造園高等技術学校の建設は、平成14年度において凍結が決定されている。



平成20年3月14日、第33回造園学校修了式に来賓として出席された故清水長寿氏。

栃木県造園建設業協会初代会長  
栃木県造園高等技術学校初代校長

## 清水長寿氏を悼む

本協会初代会長で栃木県造園高等技術学校初代校長を務められた株式会社清水造園名誉会長の清水長寿氏が6月9日、病氣療養中のところ永眠されました。99歳でした。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

清水長寿氏は本県造園建設業界の発展に大きく寄与され、大所高所からご教導を賜ってまいりました。われわれは、清水先輩のあの慈愛に満ちたご尊顔とご薫陶をいつまでも忘れることなく、協会発展の道標とさせていただきます。清水先輩、どうぞ安らかに。

(社)栃木県造園建設業協会  
会長 高梨 道太郎  
外会員一同



## 大橋和子さんが緑化功労で林野庁長官賞受賞

～下野市平地林を美しくする会初代会長／(株)竹葉建設～

「下野市平地林を美しくする会」(平美林会)の初代会長で株式会社竹葉建設(大橋久也社長)の大橋和子さんが、5月23日神奈川県で開かれた第61回全国植樹祭において『緑化功労者』として林野庁長官賞(社団法人国土緑化推進機構主催)を受賞した。

国分寺・国分尼寺などの史跡周辺にある平地林や天平の丘公園の美しい自然景観を後世に残そうと、平成2年、町内の老人会・ボランティア団体などが「国分寺町平地林を美しくする会」(現・下野市平地林を美しくする会)を設立。これまで20年にわたって空き缶やゴミの回収、下草刈りなどの定例清掃をはじめ、姿川ク



リーン作戦への参加、平地林整備への理解を深めてもらおうとふれあいコンサートを開催するなど、地域の緑化活動に大きく貢献してきた。

大橋さんは、今回の受賞について「何もしていないのにどうして私が、というのが正直な感想でした。平美林会というボランティア組織が全国に広がったことが評価されたのはたいへんうれしい。平美林会はじめ、ご協力いただいた皆さんを代表して受賞したものです」と謙虚。

広瀬寿雄下野市長は、「地道な活動が評価されて、たいへんうれしい」と話している。

## 個人庭園の維持管理を大切に

## 新 梢



株式会社落合東光園

●取締役  
落合昌樹さん(39歳)



青年部会・発①

(社)栃木県造園建設業協会青年部会副部会長を務める落合昌樹さんは、昭和46年4月27日生まれ、満39歳。南九州大学造園学科を卒業後、家業である(株)落合東光園に入社、栃木県造園高等技術学校の同窓生でもある。

2000年全国都市緑化とちぎフェアでは、「花の谷」と題した作品を自ら設計・施工して出展し、見事に最優秀賞(建設大臣賞)に輝いた。中国の石板を大胆に使い、紅花トチノキを同フェアにあわせて開花調整して一般庭園に取り入れていて、伝統的造園手法と新しいチャレンジ精神が調和した作品として高い評価を得た。

「個人庭園の維持管理を大切にしています。」

メンテナンスの向上に努め、お客様から安心して任せてもらえるようになりたい。緑を大切にする者同志の“信頼”を築くことが一番の仕事ですね」と話す。誠実な仕事ぶりとそのデザイン力は、若いユーザーの間で注目されている。

平成8年に妻・真由美さんと結婚。1男2女と両親の7人暮らし。河内郡上三川町在住。



2000年全国都市緑化とちぎフェアで最優秀賞(建設大臣賞)を受賞した作品「花の谷」

# ■第9回水と緑の少年隊フォーラム in 足尾（5月29日） 県内外から250人が参加、アセビ300本を植樹



- ◆主 催  
(社)栃木県造園建設業協会
- ◆後 援  
栃木県  
栃木県教育委員会  
日光市  
下野新聞社  
足尾に緑を育てる会  
(社)栃木県緑化推進委員会
- ◆日 時  
平成22年(2010年)5月29日  
午前10時～
- ◆会 場  
日光市足尾町/旧松木村
- ◆植樹名・植樹数  
①アセビ 300本

第9回を迎えた『水と緑の少年隊フォーラム in 足尾』(社)栃木県造園建設業協会主催、栃木県・栃木県教育委員会・日光市・下野新聞社・足尾に緑を育てる会、(社)栃木県緑化推進委員会後援)が5月29日、日光市足尾町の旧松木村で開かれた。

同フォーラムは、次代を担う子どもたちに緑化意識の高揚とボランティア精神を養ってもらう目的で毎年開催され、今年が9回目。

旧松木村で開かれた開会式には、高久健一県西環境森林事務所長（知事代理）、阿部哲夫日光市副市長、荒井賢日光市足尾総合支所長、船田元・増渕賢一両顧問、神山勝次「足尾銅山の世界遺産登録を推進する会」会長、柴田法幸N

PO特定非営利活動法人「とちぎ生涯学習研究会」顧問、石崎公宣下野新聞社営業本部長、武正和・佐藤勉衆議院議員秘書ら来賓はじめ、群馬県造園建設業協会から参加の大沢将士、清水麻美、山形和佳子の3氏をはじめ県内外から約250人が出席した。

少年隊は12班に分かれて協会の植樹指導員と保護者で構成する作業補助員と力を合わせてアセビの苗木300本を植樹。気温11℃という肌寒い中、全員が無事故で作業を終了した。

開会式で緑化宣言をした作新学院中等部3年の鈴木康耀さんは、「初めて木を植えて楽しかった。来年も参加したい」と話してくれた。



▲緑化宣言する作新学院中等部3年・鈴木康耀さん



▲開会式に出席した来賓の皆さん



▲アセビの苗木を植樹する高久健一県西環境森林事務所長



▲開会式を迎える高梨会長、船田元顧問(中央)、石崎公宣下野新聞社営業本部長(右)



▲群馬県造協から参加の大沢将士、清水麻美、山形和佳子の3氏



▲植樹現場でインタビューに応える柴田法幸「とちぎ生涯学習研究会」顧問と参加者の皆さん



▲神山勝次「足尾銅山の世界遺産登録を推進する会」会長(左)と荒井賢日光市足尾総合支所長

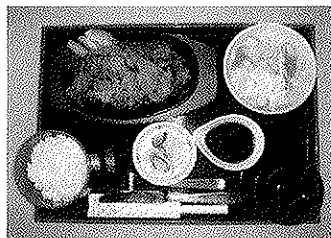


▲今回から新しく植樹会場を移動して設けられた記念碑。当日はとちぎTVの取材カメラも入った

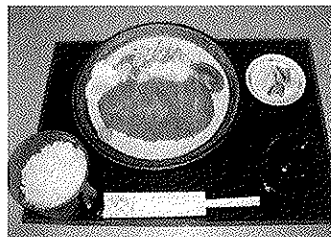
## ◆栃木県民ゴルフ場 今年度目標36,000人達成

昨年度は女性客へのサービスを向上させたが、今年度は家族連れ・ジュニアへのサービスを重点課題として、昨年度入場者数より6,000人増の36,000人達成を目指す。宇野義大支配人は、「昨年度は、わからないこともたくさんあってスタッフ全員がお客様に助けられました。今年度はそのお客様に恩返しするつもりでご満足いただけるサービスを心がけます」と話す。

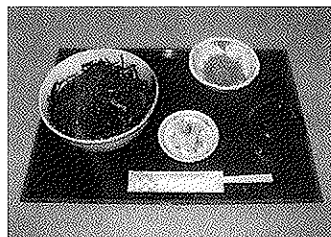
### ▼阿久津文雄料理長おすすめの昼食メニュー



牛リブローズステーキ  
セット  
1,200円  
サラダ・漬物・味噌汁付



とんかつ定食  
1,000円  
漬物・味噌汁付



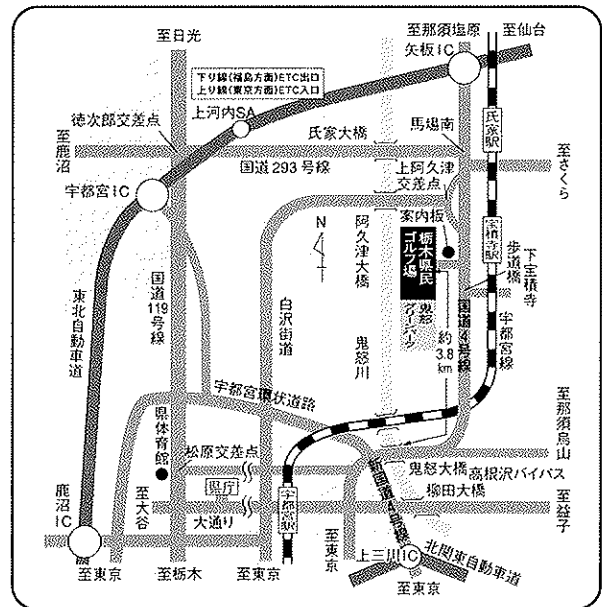
カツオのたたき丼  
1,000円  
煮物・漬物・味噌汁付

### ◆オープンコンペのご案内（6月～8月）

- 6月9日(日) 水曜杯／参加料1,050円
- 6月13日(木) 友の会月例杯／参加料1,050円
- 6月18日(日) シニア&レディースオープンコンペ／参加料1,050円
- 6月24日(日) 第45回栃木県知事盃予選／参加料2,500円
- 6月27日(木) マルマン杯／参加料1,500円

- 7月2日(日) シニア&レディースオープンコンペ／参加料1,050円
- 7月14日(日) 水曜杯／参加料1,050円
- 7月18日(木) 友の会月例杯／参加料1,050円
- 7月25日(日) キリンビール杯／参加料1,050円
- 8月6日(日) シニア&レディースオープンコンペ／参加料1,050円
- 8月11日(日) 水曜杯／参加料1,050円
- 8月15日(木) ハーフコンペ／参加料1,050円
- 8月22日(日) 友の会月例杯／参加料1,050円
- 8月29日(日) プリダストーン杯／参加料1,500円

### ■ご案内図



- 電車ご利用の場合
  - ・JR宇都宮線で宝積寺駅下車。タクシーご利用の場合、約5分。
  - ・宇都宮駅東口からタクシーご利用の場合、約20分。
- 車ご利用の場合
  - ・東北自動車道宇都宮IC・上河内SA・矢板ICからそれぞれ約30分。
  - ・北関東自動車道上三川ICから約30分。



Kenmin Golf Course

## 栃木県民ゴルフ場

〒329-1233 栃木県塩谷郡高根沢町大字宝積寺字上川原 828

TEL.028-675-7222

FAX.028-675-7213

URL.http://www.kenmingolf.jp

## ◆栃木県中央公園

### 満席の「マツの手入れ講座」

栃木県中央公園・緑の相談所では4月25日、「マツの手入れ講座」を開き、宇都宮市民ら30名が受講した。

マツの種類は、二葉松（クロマツ・アカマツ・リュウキュウマツ）、五葉松（ゴヨウマツ・キタゴヨウ・ヤクタネゴヨウ・チョウセンゴヨウ・ハイマツ）に分けられ、本県ではクロマツ（黒灰色の肌で雄松と呼ばれる）とアカマツ（赤い樹肌で雌松と呼ばれる）、ゴヨウマツ（福島五葉、那須五葉）が特に多く、個人庭園に最も多く使われている。

講師を務めた青山彦・緑の相談所員は、「マツの手入れは難しくありません。手間をかけて

根気よく作業をすることが大切です。4～5月に新梢を摘む“みどり摘み”や10～12月に多すぎる葉を少なくして通風・通光をよくする“揉み上げ”など単純作業ですが、とにかく時間と手間のかかるのがマツです」と指導した。

この講座には予約オーバーの申し込みがあり、マツの扱いには皆さん困っているようだ。



▲青山彦講師（手前）の話を熱心に聴く受講生

## ◆上三依水生植物園



◀5/7に開花した黄色いケシの花

中国・四川省などの高地にしかなく、国内での栽培例は少ないとされる幻の黄色いケシ「メコノプシス・インテグリフォリア」が、5月7日、見事に開花して話題になった。「ヒマラヤの青いケシ」と共に同園のシンボルとなりそうだ。

5月19日には、野岩鉄道利用促進協議会幹事会が同園を訪れ、沿線の観光スポットとして鈴木博英副園長が園内を案内した。

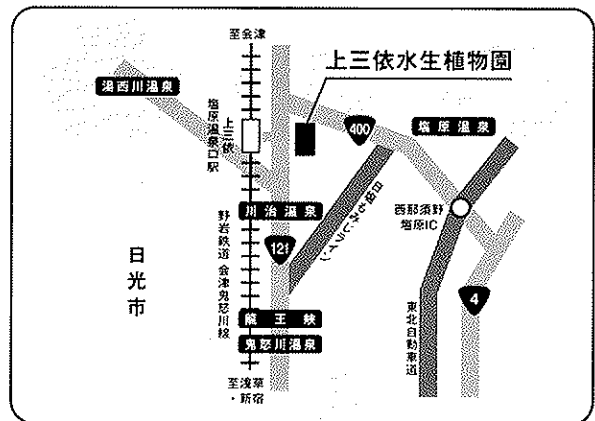


▲野岩鉄道利用促進協議会を案内する鈴木博英副園長（左端）

見事に

## 黄色いケシが開花、ヒマラヤの青いケシと並んで同園のシンボルに

### ■ご案内図



鉄道 会津鬼怒川線 上三依塩原温泉口駅 徒歩7分  
車 鬼怒川温泉から121号線で約30分  
塩原温泉から400号線で約15分

## 上三依水生植物園

〒321-2802 栃木県日光市上三依 682

☎0288-79-0377

本部 栃木県造園建設業協同組合 ☎028-633-5646

## ■平成22年度栃木県造園高等技術学校入校式（4月2日）

# 1年ぶりの開校で18名の入校生迎える



造園学校(木山八郎校長)では4月2日、松沼繁樹県産業労働観光部労働政策課主幹兼課長補佐ら来賓を迎えて入校式を行った。18名の入校生を代表して飯野公德さん(=写真)が木山校長に「優れた造園技術者になります」と誓った。

### ◆平成22年度入校生

青柳 浩明 (有青柳造園/宇都宮市)

飯野 公德 (有創園/宇都宮市)

磯 孝一 (有磯造園/さくら市)

大河原 輝 (有御幸造園/宇都宮市)  
 篠田 恵太 (有増田造園/足利市)  
 鈴木 裕之 (有鈴木造園土木/さくら市)  
 外丸 雅俊 (有外丸造園/足利市)  
 高梨 克将 (有八州造園/宇都宮市)  
 高山 雄志 (有高山造園/下野市)  
 高山 幸男 (有上野園/下野市)  
 長 泰弘 (有染宮造園/小山市)  
 中村 久夫 (有尾嶋造園/宇都宮市)  
 根本 将大 (有細島緑正園/真岡市)  
 福田 順一 (有フクダ工業/野木町)  
 峯田 尚 (有細島緑正園/真岡市)  
 宮田 宣千 (有三和造園/小山市)  
 室井 孝宏 (有福寿園/宇都宮市)  
 森川 剛 (有染宮造園/小山市)



松沼繁樹県産業労働観光部課長補佐



高梨道太郎県造園建設業協会長



尾嶋章市同窓会長



▲平成22年度入校生と来賓・事業所・学校関係者




ISO 9001  
BUREAU VERITAS  
Certification  
ISO9001 認証取得



## 株式会社 磯造園土木

代表取締役 磯 一己

〒321-4351 栃木県真岡市中2014-1  
TEL.0285(84)5101 FAX.0285(84)5116



一般土木・総合造園業

## 株式会社 中嶋造園

代表取締役 中嶋 徳実

〒320-0851 栃木県宇都宮市鶴田町750-1  
TEL.028(648)4462 FAX.028(648)8207

## 最近の主な動き



## 事務局だより

### 《4月》

- 2日 造園高等技術学校入校式
- 9日 指定管理者合同運営委員会（組合）
- 13日 認定職業訓練関係補助事業完了検査
- 16日 青年部会総会
- 27日 総務委員会

### 《5月》

- 10日 指定管理者合同運営委員会（組合）
- 17日 21・プロジェクトチーム打ち合わせ
- 18日 造園三団体監査
- 19日 造園三団体理事会
- 25日 理事会（組合）
- 26日 平成22年度造園三団体通常総会（コンセー  
ール）
- 29日 第9回水と緑の少年隊フォーラムin足尾

### 《6月》

- 9日 指定管理者合同運営委員会（組合）
- 11日 造園土木施工講習会
- 17日 企画広報委員会（緑風編集会議）

### ◆賛助会員入会のお知らせ

- (1) 磯造園 代表者／磯 孝志  
さくら市金枝872
- (2) (有)鈴木造園土木 代表者／鈴木康夫  
さくら市上河戸803

- (3) 外丸造園 代表者／外丸 実  
足利市大町435-9
- (4) (有)高山造園 代表者 高山一郎  
下野市薬師寺3133-24
- (5) 細島緑正園 代表者／細島正稔  
真岡市東大島1449-11

### ◆退会のお知らせ

- (1) (有)小松原造園  
佐野市犬伏中町2161-1
- (2) (有)永島グリーン企画  
下都賀郡岩舟町大字静和1727-2

### ◆代表者変更のお知らせ

- 井草花木株式会社（足利市上渋垂町1168-6）  
（新）井草 輝夫  
（旧）井草 恭之

### ◆編集後記

新企画『新梢－青年部会発－』は、青年部会  
で活躍する皆さんの素顔を紹介する欄として、  
第1回の今回は、株式会社落合東光園（上三川  
町）取締役の落合昌樹さんにご登場願いました。  
皆さんの仕事に対する意気込みや造園に対する  
考え方などをご紹介していきたいと思っております。  
ご協力のほど、よろしく願い申し上げます。  
（五月女）

### ■指定管理者／栃木県造園建設業協同組合



18ホール・本格パブリックコース  
**栃木県民ゴルフ場**

支配人 宇野 義大

〒329-1233  
栃木県塩谷郡高根沢町大字宝積寺字上川原828  
TEL.028-675-7222 FAX.028-675-7213  
URL.<http://www.kenmingolf.jp>

### ■指定管理者／栃木県造園建設業協同組合

日光国立公園  
**上三依水生植物園**

園長 菊池 清孝

〒321-2802 栃木県日光市上三依682  
TEL.0288-79-0377（FAX兼用）  
日光市藤原総合支所観光商工課 TEL.0288-76-4111